

1 教科について

国 語

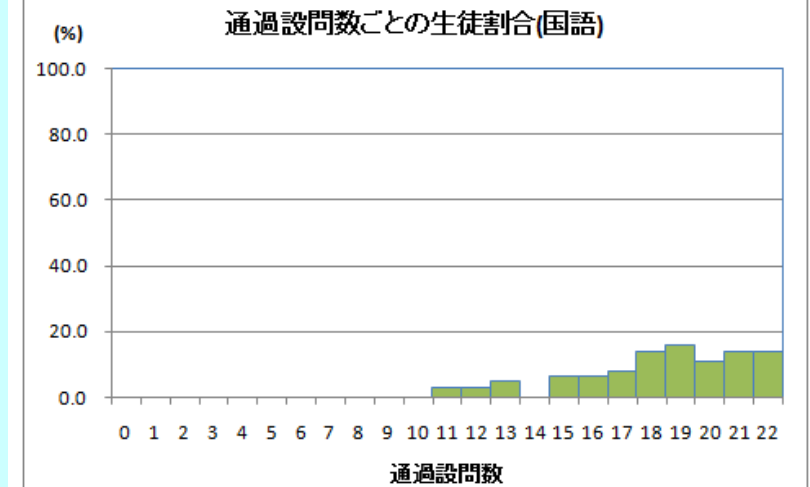
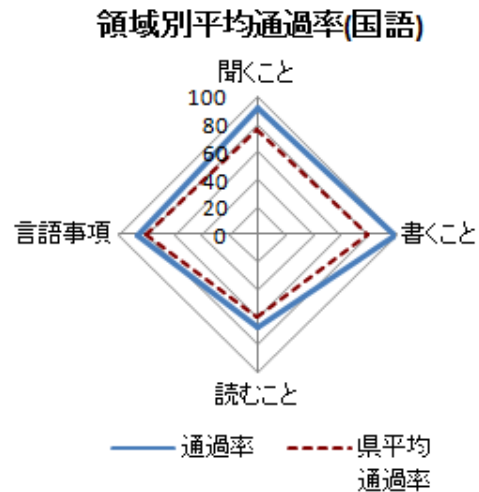
昨年度の課題

- ① 「段落相互の関係理解」
(本校 44% 県 50%)
- ② 「文章の構成・展開」
(本校 66% 県 73.8%)
- ③ 「文章のきまり」
(本校 66% 県 75.2%)

昨年度の課題を受けて
具体的に取組んだ事項

- ① 説明的な文章では、個人作業を通して段落相互の関係をつかませていく。
- ② 音読を定着させ、文章を読むことへの抵抗感をなくし、登場人物の心情や文章構成を丁寧に読み解かせていく。
- ③ 文法の学習を文法単元に限らず、日常的な学習の中で取り込んでいく。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 83.3 % 県平均 73.2 %



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・【読む(文学)】文脈上の語句の理解
(本校 50.0% 県平均 41.3%)
- ◎・・・【読む(文学)】内容の理解
(本校 75.0% 県平均 83.8%)
- ◎・・・【言語事項】小5漢字の読み
(本校 62.5% 県平均 73.9%)

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 文章のあらすじをおおまかに確認させた上で、場面ごとの展開を読み取らせる。読書指導を充実させる。
- ② 登場人物の心情が表れている言葉(直接的・間接的な心情表現)を手掛かりに、心情やその変化を読み取らせる。読み取ったことを自分の言葉でまとめさせ、友だちと交流させる。
- ③ 毎日漢字帳で漢字練習をさせるとともに、生活ノートで既習漢字を使った記録文を書く習慣付けをするなどしていく。

来年度の目標値

- 「読むこと」通過率 65%以上
- 通過率 60%以上の生徒の割合 80%以上

指導方法等の改善計画について

数 学

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

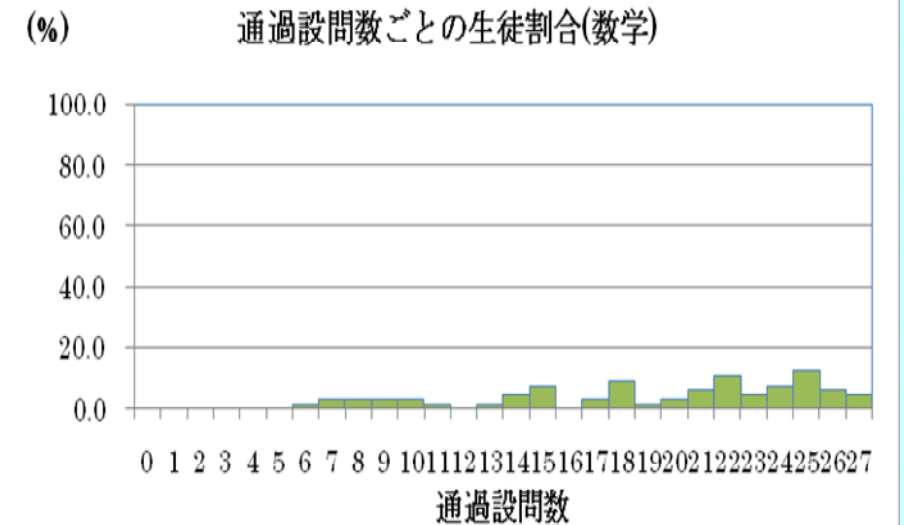
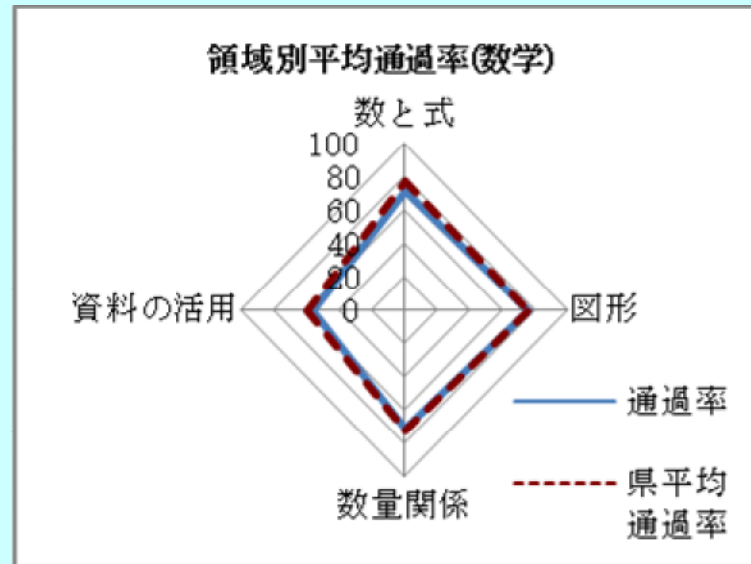
昨年度の課題

- ①関係を文字式で表す(本校40.0%)のような、思考を要する問題の通過率が低い。
- ②比例の意味(本校42.0%)
- ③「数と式」の領域の通過率が、県、全国との比較では最も低い。(本校66.9%, 県75.5%, 全国75.2%)

昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ①思考を要する問題に意欲的に取り組ませるために、数学的な活動を取り入れ、どの学年もしっかり考えさせる時間を確保する。活動して考えさせた内容を定期テストに出題し、定着率の検証をする。
- ②比例・一次関数に関する復習プリント等で解かせたり、関係を文字式で表す問題とも関連しているので、学び直しの機会を設定する。定期テストにも出題し、その都度振り返らせる。
- ③基礎的・基本的な計算問題については、授業始めの5分間を使って、ドリル学習をさせ、計算力の定着を図る。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 **71.1%** 県平均 **74.7%**



重点課題

- ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇ : 全国学力・学習状況調査
- ◎・・・相対度数の意味が理解できていない。(本校21.9%)
- ◎・・・累乗の計算方法を間違えている。(本校37.5%)
- ◇・・・

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①資料の整理(相対度数など)の単元は、移行措置により新しく習う内容であり、時間的確保もむずかしい状況であった。そこで、十分な時間を確保し、「しっかり教える」「じっくり考えさせる」ことを重点において指導する。また、考え方や解き方を「はっきり表現」させたり、定期テストにも出題し、定着率の検証をする。
- ②累乗計算の場合、特にかっこのある、なしで計算方法が異なることを今一度しっかり理解させるために、学び直しの機会を設定する。また、計算方法の違いについて、「はっきり表現」させたり、定期テストにも出題し、定着率の検証をする。
- ③

来年度の目標値

- 県の平均通過率を上回る。
- 通過率30%以下の生徒の割合を0にする。

指導方法等の改善計画について

英語

※ 全国学力・学習状況調査については、調査を実施した場合、調査実施後、改善計画に付け加える。

昨年度の課題

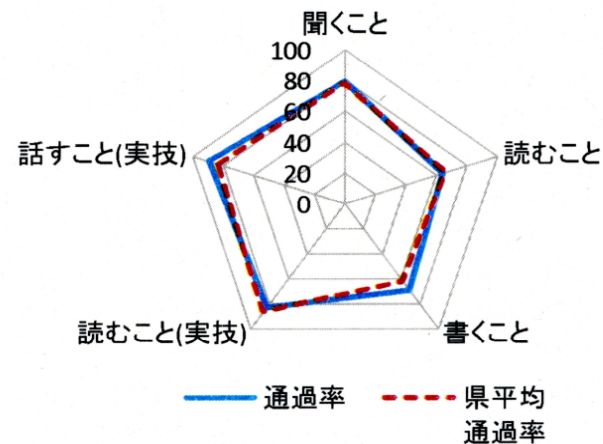
- ①リスニング問題（概要や要点の把握）
（本校36% 県55.2%）
- ②What time～? の問いに対して、適切に応答することができる。
（実技3 本校46% 県71.9%）
- ③自分の考えや気持ちを正しく伝わるように書く。
（本校40% 県59.3%）

昨年度の課題を受けて 具体的に取組んだ事項

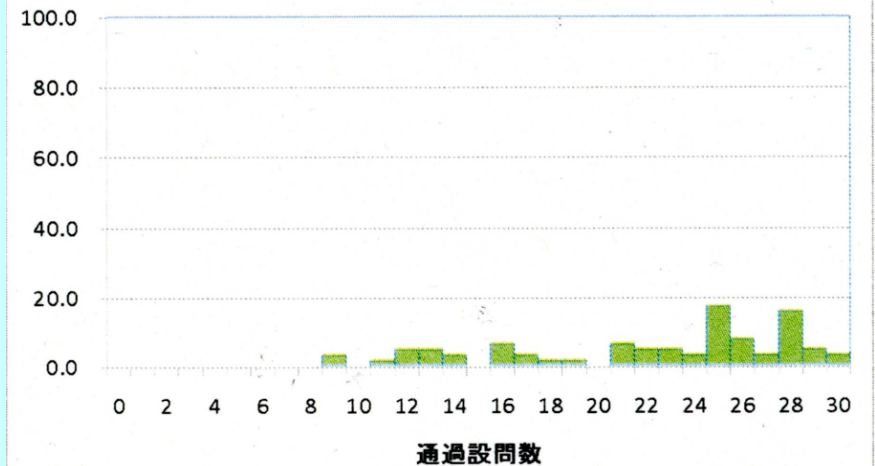
- ①授業において、リスニング練習等を取り入れたり、ALTとの授業においてインタビューチェックを取り入れ、理解力を育成する。
- ②語の発音、アクセント、文のイントネーションを正しく発音できるようになるために、定期的に音読テストを実施し、それに向けて音読練習教科月間を設けるなど、音読練習を強化する。ALTを有効に活用し、音読テストも含め、「しっかり教えた」ものが「はっきり表現できる」をめざす。
- ③日記や新出文法を用いての自己表現活動を取り入れ、表現力を育成する。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 74.0% 県平均 71.9%

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



重点課題

- ◎: 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇: 全国学力・学習状況調査

- ◎ 「読むこと（実技も含む）」の領域
（本校：64.2（実技82.8），県：66.7（実技86.5）
動詞、助動詞の正しい使い方が理解できていない。
話の流れを的確に捉えるのが苦手な生徒が多い。
- ◎ リスニング問題（概要や要点の把握）
（設問①-1）（本校：46.9，県：56.9）
単語を正確に聞き取ることができていない。
- ◎ つながりのある英文を書くこと（設問⑫）
（本校：57.8（うち正答率6.3），県：61.4）
単語の綴りを正確に覚えていない。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①教科書の内容に関連した「英問英答」のワークシートに繰り返し取り組ませ、本文の要点や概要を正確につかむコツをつかませる。
- ②リスニング練習の際、あらかじめ「リスニングポイント」を与え、要点や概要を理解させながら聞き取る練習を行う。またリスニング力向上には、語の発音、アクセント、文のイントネーションを正しく発音できる必要があるため、定期的に音読テストを実施し、それに向けた音読練習に継続して取り組む。
- ③綴りを正確に覚えさせるために「単語テスト」に継続的に取り組む。また基本文の定着を図るために、英文を書くドリル学習を継続する。「絵の内容について複数文以上用いて説明する」練習を計画的に行うことで、つながりのある英文を書くことに慣れさせていく。

来年度の目標値

- 県の平均通過率を2ポイント上回る。
- 通過率30%未満の生徒の割合を0にする。

指導改善のための実施スケジュール

| | ～8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 |
|---------|--|------------------|----------|-----|------------------|----------------------------|--------|-------------------|-------|
| | Plan | Do | | | | Check | 検証 | Action | Check |
| | 結果の分析・H22の改善計画の見直し H23の改善計画の実施 | | 次年度の計画 | | | | | | |
| 【教科】 | | | | | | | | | |
| 英語 | 毎日ノート提出・単語テスト実施（毎单元）・文法事項のドリル練習実施・基本会話表現練習実施・リスニング練習（毎单元の最初） | | | | | | | | |
| | 休み明けテスト 音読指導強化 音読テスト | 中間テスト （英作文評価） | インタビュー活動 | | 期末テスト （英作文評価） | 休み明けテスト 音読指導強化 音読テスト | 自己表現活動 | 学年末テスト （英作文評価） | |
| 【生活・学習】 | | | | | | | | | |